

資料2

中央防災会議
「東南海、南海地震等に関する専門調査会」
(第21回)

西日本内陸部の地震活動について

平成18年4月13日

中央防災会議事務局

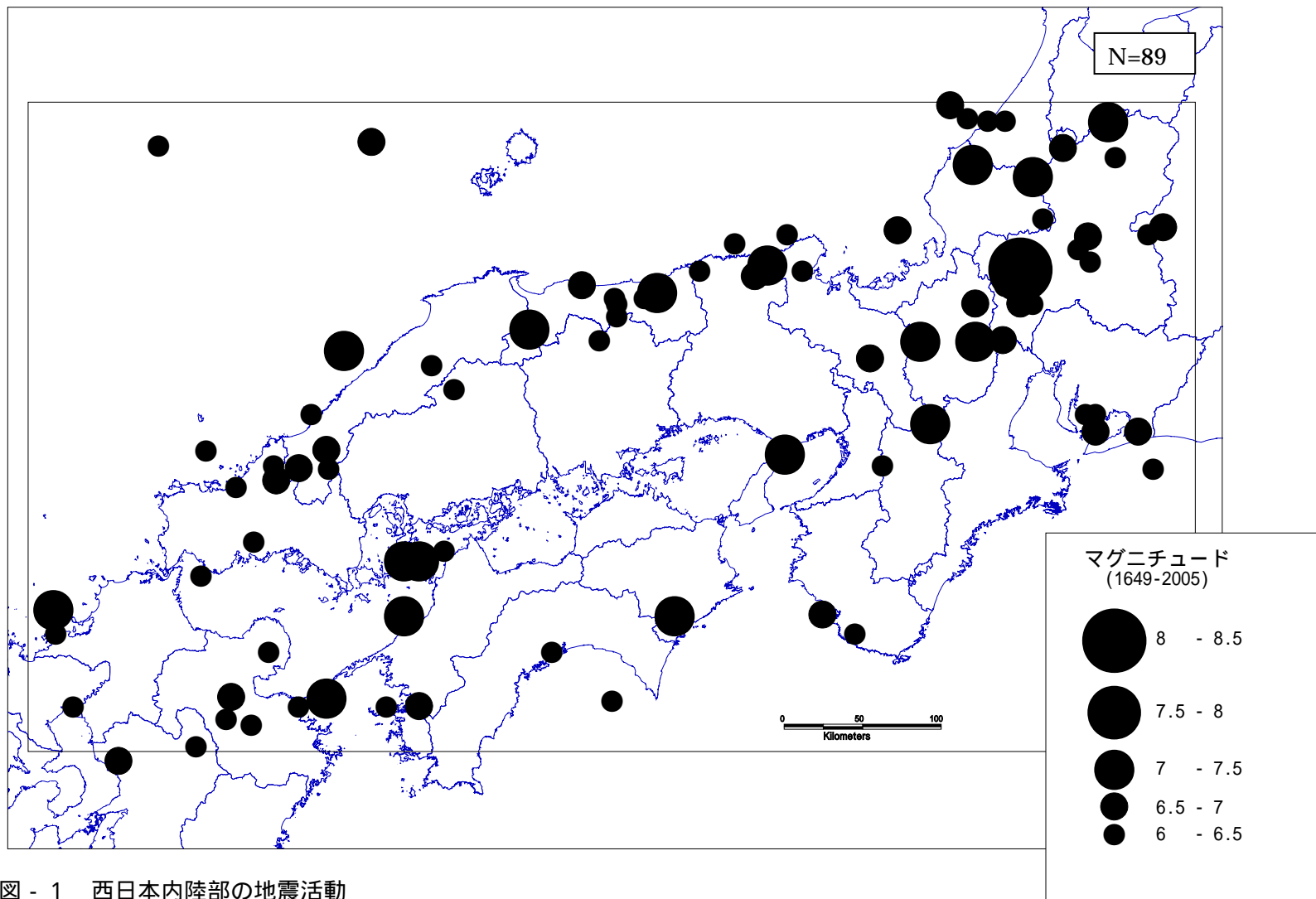


図 - 1 西日本内陸部の地震活動

1649年～2005年までの期間について、マグニチュード6以上、深さ30km以浅の地震を選択。ただし、南海トラフ沿いの地震を除外している。地震カタログは、1649年～1884年は理科年表、1885年～1922年は宇津の表、1923年～2005年までは、気象庁によった。

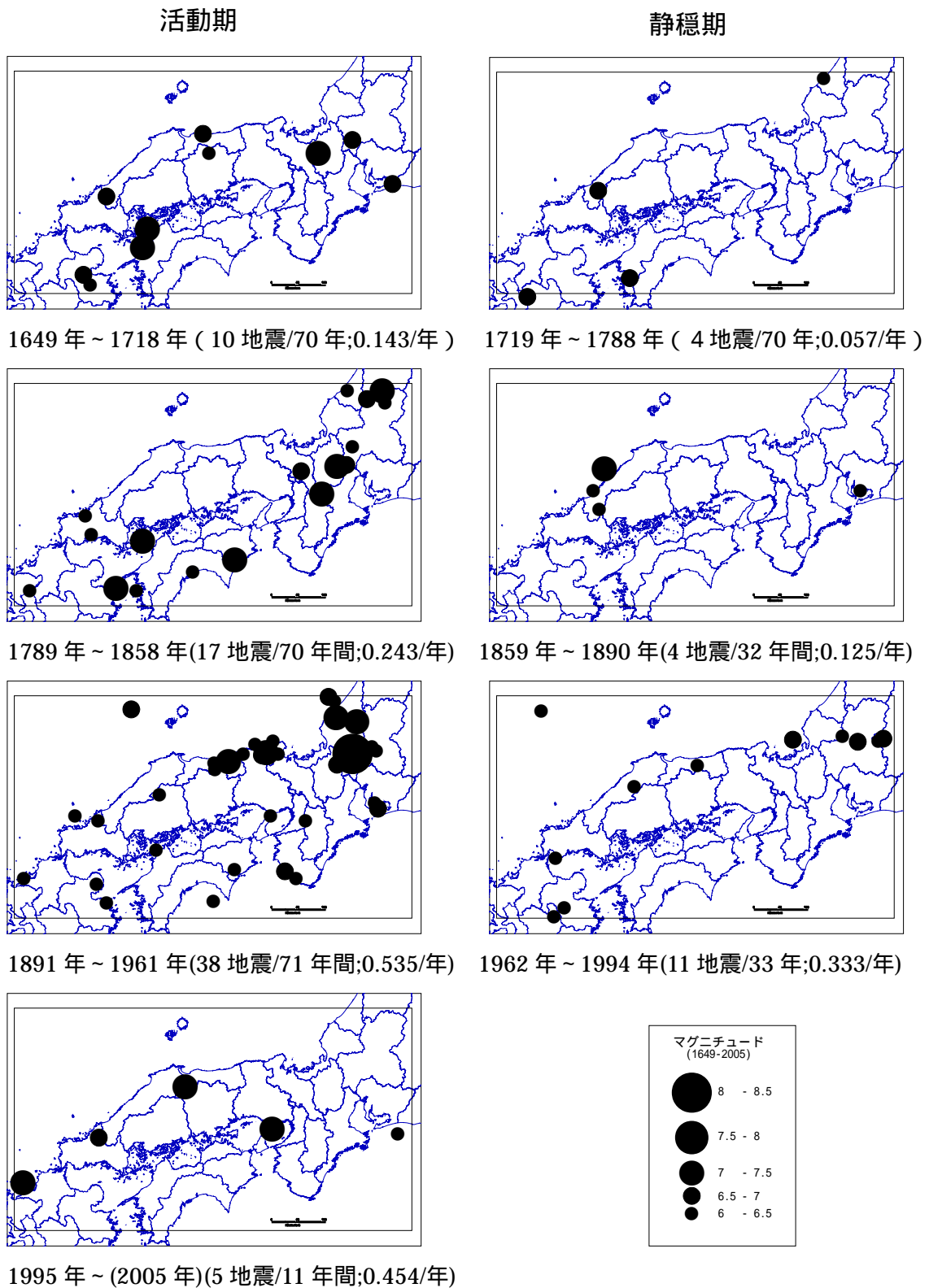


図 - 2 西日本内陸での地震活動

尾池(2001)に図示されている活動期間ごとに、図1に示した地震についてプロットした。

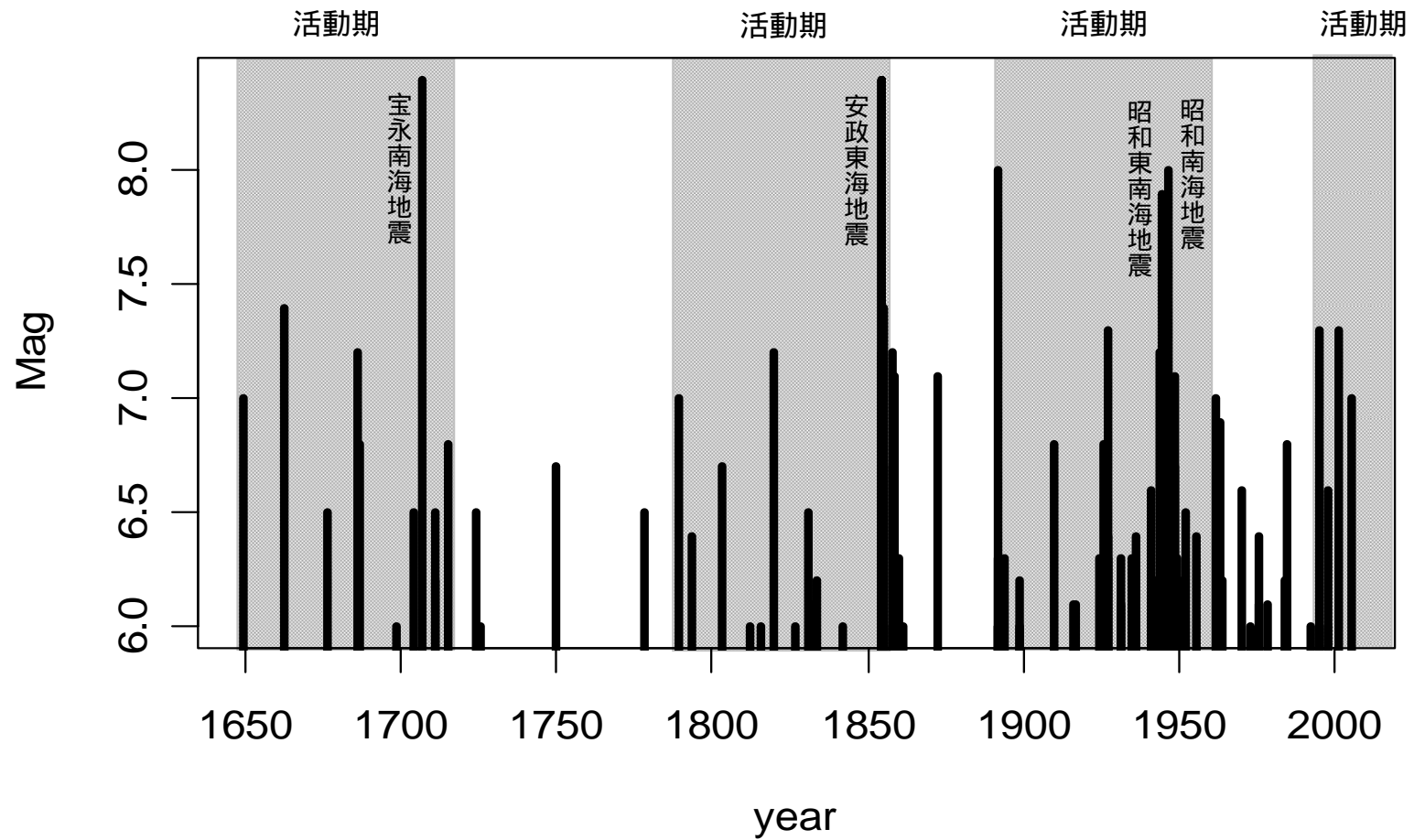


図 - 3 西日本の地震活動

M6 以上の内陸地震の M-T 図 (深さ 30km 以浅)。ハッチは、尾池(2001)による活動時期区分。図 1 に図示した地震を用いた。

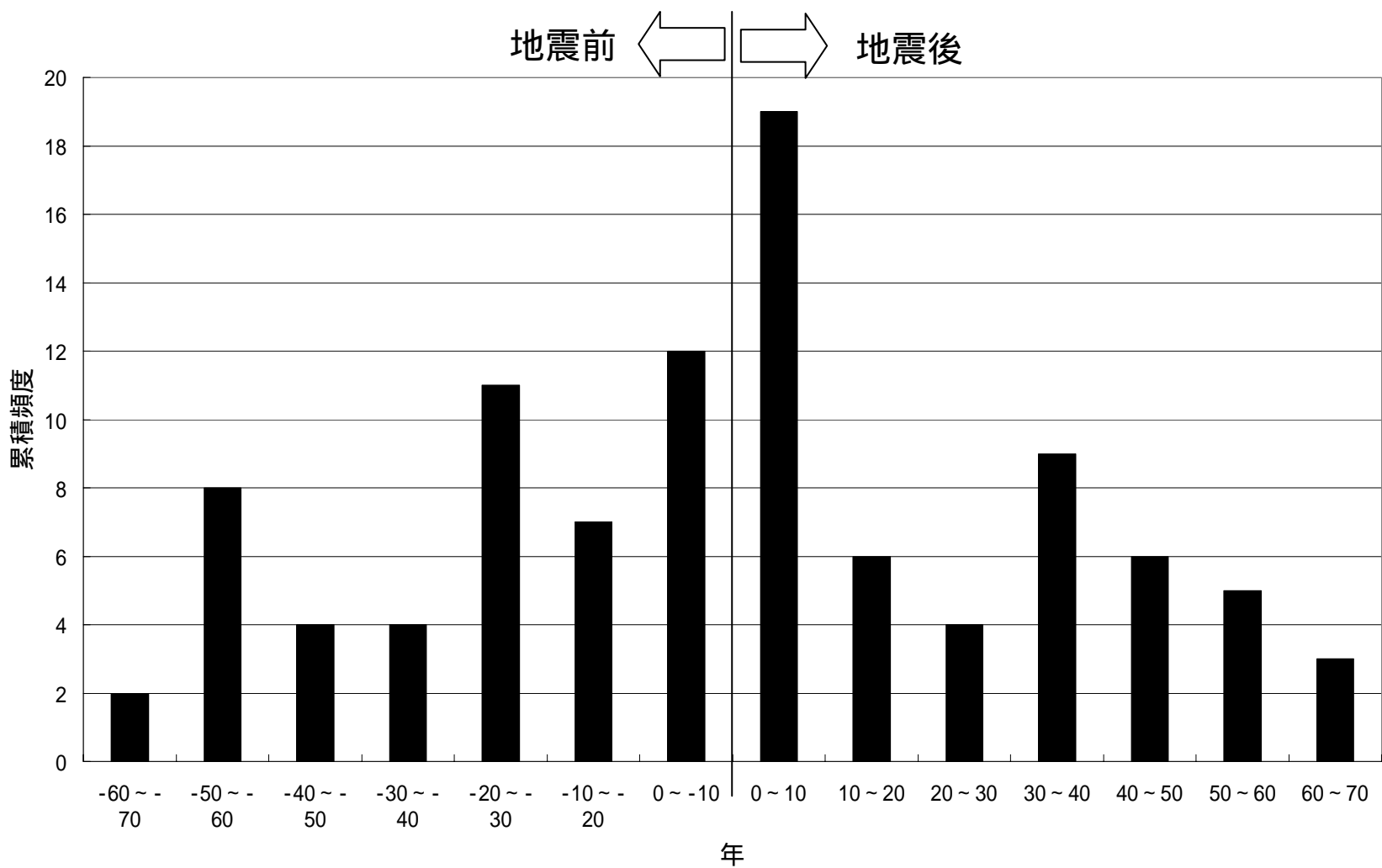


図 - 4 南海トラフ沿いの巨大地震発生前後の西日本内陸部での地震発生パターン

1649年～2005年までの期間、深さ30km以浅M6以上の地震について、昭和南海、安政東海、宝永南海の3回のイベントの前後に発生した地震の累積頻度を、図1に示した地震について集計した。